

報告者:黒沼貞志

今回はテーマ「港を活かしたまちづくり」ということですが4~5月度のレポートにて「酒田港長期構想」について2度目の報告をさせて戴きました。そのご返事を戴けるとのことですので、今回はテーマから若干それますが「港の上流における地域づくり」についてレポート致します。

小職がこれまで6年間関わってきているコミュニティビジネス(CB)領域の事業の中に、行政との協働企画提案事業(PCデータによるチラシ:下記WEBアドレス参照下さい)があります。

http://www.sk-solutions.org/pdf/2006chirashi_2.pdf

その一つとして「CBアイデアコンテスト(別添付チラシ参照)」が実施され、優秀賞に選ばれたアイデアの中の一つに「馬見ヶ崎川のかまくら」があります。

以下にその概要を転記致します。

□アイデア起案者:飯野喜一郎さん(山形市)

□アイデアの名称:馬見ヶ崎川のかまくら

□目的:冬期間の利用者がほとんど無い河原敷と雪を使い、子供・親・高齢者が一緒になって参加できる「ミニかまくら」を作ることで各世代のコミュニケーションをはかり町の活性化につなげたい。

□内容:市内馬見ヶ崎川の二口橋から千歳橋間の河川敷で冬期間に、積もった雪を利用して地域の子供・親・高齢者に呼びかけ「ミニかまくら」をつくり、夕方からローソクをとます。

このアイデアを出された方は日頃泉町の堤防・河川敷内の草刈・雑木伐採・樹木の剪定・雪囲いなどを管理しているボランティア団体「泉町堤防美化クラブ」のメンバーと応募書に記載がありました。

貴所が管理される馬見ヶ崎川の冬の利活用の現状については、小職は不勉強ですが、このアイデアは一考に価する可能性有ると思われましたのでご紹介致しました。

また、同じく優秀賞に選出されたアイデアに「ローソクのリサイクル」がありますので紹介します。

このアイデアは一見無関係に思われますが、以下の概要を見ますと、上記「馬見ヶ崎川のかまくら」にて使用する「ろうそく」に利活用するという連携で繋がります。

□アイデア起案者:国分敏英さん(西川町)

□アイデアの名称:ローソクのリサイクル

□目的:使用済みのローソクを集め、障害者施設等で再成型したろうそくを販売する。事業を通じて障害者の自立支援と資源の再利用に役立てる。

□内容:各チャンネルを通じて集めた使用済みのローソクを、提携先の障害者施設等で再成型してもらい、個人やイベント向けに販売する。

さて、上記CBアイデアコンテストの優秀賞受賞アイデア「馬見ヶ崎川のかまくら」に対し貴地域づくり事業アイデアとして興味がございましたら、小職の方までご一報願います(小職は山形県の委託事業を受託した「地域共創推進コンソーシアム」代表兼本事業のプロジェクトディレクターをしております)。

くれぐれも、アイデア起案者への直接のコンタクトはご遠慮下さい。

以上